

『 私たち自身の持続可能性 』

～雇用・働き方、結婚・子育て、暮らし方の未来を考える～

「20年先の社会を考えよう」と言われても、それ以前に、自らの足元の雇用、収入確保、結婚、長時間労働、閉塞感などなど、自らの持続可能性が危ういと感じる人も多いと思います。

そこで、「私たち自身の持続可能性」シリーズ第一弾として、まず”私たち1人ひとりが持続可能”であるにはどうあるべきか？ そのために何をすべきか？を考えてみることにしました。今回の検討会の結果をキッカケとし、継続してこのテーマを掘り下げていきます。一緒に取り組んで参りましょう！

社会が持続可能であるためには、1人ひとり人生のサイクルが、うまく回っていることが大切です。しかし現代では、子どもがのびのび育ち難い、学歴が活かせない、仕事の達成感が低い、結婚したくない・できない、老後のことが心配、などなど不安と閉塞感を感じる人が多くなっています。

いっぽうで、我々は、自分たちの社会を悲観的に捉え過ぎている感もあります。人は、ものごとをポジティブに考えていけばそちらに向かっていき、悪い方向に捉えているとそれに引きずられるという特性も持っています。人の集合体である社会でも同じことはいえます。現実離れた楽観論や拡大成長主義は禁物ですが、もっと、私たちの国の良いところを見つめて、これからの活かしていくことも大切なことだと思います。

今回は、これからの生き方を考えるための視点をはじめに共有した上で、ワールドカフェ・ダイアログによる創造的な対話で、1人ひとりがどうあるべきか、どんな社会を目指したいか、というコンセプトを共有します。



【パート1】 導入部 (90分)

●前提の共有 (働き方、幸福度、無縁社会、ライフサイクルなど)

●将来の視点の共有

スピーカー (敬称略)

- | | | |
|--------------|-------------------|-------------------|
| ◎ 藤沢 千代勝 | こうとう親子センター 副代表理事 | 《最初が肝心＝皆で支える子育て》 |
| ◎ 黒沢 一樹 | NPO法人 若者就職支援協会理事長 | 《就職》 |
| ◎ 金 桂紅 | 国際航業(株)勤務 中国出身 | 《日本は世界一の国＝自信を持って》 |
| ◎ 岡村 雅史 | 株式会社 あしたのくに 代表 | 《自然と医療の融合》 |
| ◎ 高橋 弘行 | 横浜国大 大学院 特別支援教育専攻 | 《寄り添いの思想》 |
| ◎ 中山 弘 | ”2030ビジョン”代表 | 《北欧の暮らしと福祉》 |
| ◎ ロバート・ドラーチャ | 早稲田大生 ルーマニア出身 | 《実生活でのリーダーシップ》 |

【パート2】 展開部 (90分)

- ワールドカフェ・ダイアログ*
- 纏め・共有

*参加者全員での創造的な対話により、あらたな智慧を生み出し共有します。

■日時: 6月26日(土) 17:50 - 20:50 (開場 17:30)

■場所: 東京ウィメンズプラザ 視聴覚室 A, B

メトロ 表参道駅 B2出口 4分 JR渋谷駅 12分
TEL 03-5467-1711

■参加費: 社会人 1000円 学生 500円

※別途 南欧料理店で懇親会も予定しています

■定員: 40名 (事前申し込み要)

申込み: 下記ホームページから



問合わせ先: 090-9680-0152 (中山)